

インドと日本との間に 存在する30件の訴訟

貿易関係を強化する誓約を再確認するために、インドは今年中に日本との2国間の事前確認制度(APA)に署名する予定で、現在日本で係争中の少なくとも15件の訴訟が解消される見込みです。これにより、日本企業はインドの税務当局によって課された調整額について税金控除の申請を行えば、二重課税を排除することができるようになります。

インドと日本の税務当局は相互協議(MAPS)に基づいて連携し、高い訴訟費用、二重課税、課税の遅れに対する、日本を含めた国際的な貿易相手国の懸念を最小化する予定です。

現在インドと日本の間には、ロイヤリティー(特許権、商標権、著作権などの知的財産権の利用

モディが変える インド経済

第4回

移転価格紛争解消に向け、 対日APA協定に署名か

インドの税制は、その多くが1950年代の法律に基づいたもので、その後の変更はその都度該当部分のみ改正されてきたため、複雑で一貫性に欠けると言われてきた。それがここへきて大きく改善される可能性が出て来た。今年中にも日本との2国間のAPAに署名する予定だからだ。

部品メーカーに対して1千億ルピー(約500億円)を超える税金控除が確実になると見られています。

APAは、国家の税務当局とその行政区でビジネスを行う外国企業との間の取り決めで、そ

それぞれの国の課税制度で規定された金融取引の取り扱いに関する差異をなくすためのものです。課税問題は両国の当事者双方が同意した原則に従って特定・解決されるため、APAによって訴訟プロセスを簡略化し、周知させることで、企業にとっても無駄な時間と努力を大幅に削減すると期待されています。

移転価格は世界中で議論を呼び、関連する紛争が見られ、意義が申し立てられてきました。透明性を確保し、紛争を合理的に解決するために、移転価格は2009年以降、基本的には各種パラメーターがOECD(経済協力開発機構)のガイドラインに一致するようにしながら、コンセプトと実行の両面で大きく改善されてきました。多くの国では移転価格の変容が歓迎されていますが、インドはそれに対

しては事実上無関心な態度を保っています。

複雑な課税慣行や時間の掛かる訴訟・控訴による解決プロセスなどにより、世界の主要な経済大国とインドの産業面での関係は損なわれてきました。インド政府が税務に関する訴訟手段を合理化するのを渋っていることや、そのための政治的意志の欠如こそが究極の障壁であると、

多くの関係国や企業から見られています。

税務行政の大胆な改革が インドの成長を促進させる

インドが初の2国間APA協定を日本と締結すれば、インドの損なわれたイメージを改善し、インドで資本集約的なプロジェクトを行うことを避けていた他の諸国に対しても道を開くものです。この思い切った転換により、他の諸国ともAPAを締結する可能性が高く、まずはそのひとつとして英国と協定を結ぶ見込みです。

日本との合意には、エネルギー産業やインフラ管理などを含む多様なビジネスを行う大手商社のひとつが含まれています。14年12月に提案されたAPAの有効期間は5年間です。APAの第一歩として、訴訟や査定

慣行をめぐる問題について両国の関係税務当局によって取り組まれる予定です。

今後、日本とのより柔軟な相互協議も検討されるなど、日本との産業的な結び付きの改善は、インドへの投資に有利に働くものと期待されています。インドの首相が国際的な場で表明したインドの政治的な風潮の変化や誓約は、インドが多国籍企業にとってビジネスを行うのに好ましい場所であることを裏付け、インドに対する不安や懸念を軽減させたと専門家は考えています。

最終的には直接税中央委員会によって決定されることになる多くの申請がまだ正式締結されていませんが、経済学者や税務専門家はインドのAPAの環境について楽観的な見方をしています。14年7月に発表された週

及適用条項は、情報技術や情報技術によって可能となったサービスなどの分野において、APAの大幅な増加となる可能性が高いです。結論として、より円滑、柔軟かつ最適化された訴訟慣行を採用しようとするインドの税務行政は、インドの成長にとって大きな進展です。



帝羽ニルマラ純子

(ていは・にるまら・じゅんこ)インド共和国・バンガロール生まれ。法政大学大学院修了(イノベーションマネジメント専攻)。日印コンサルタント会社起業を経て、現在インドビジネスアドバイザー。来日以来16年間で、日本企業の海外展開、外国企業の日本市場参入支援を中心に活躍。「日本人が理解できない混沌(カオス)の国インド 政権交代で9億人の巨大中間層が生まれる」(日刊工業新聞社)など著書多数。



PHOTO:FEAR時事

対インド貿易での移転価格は、多くの国々との間で問題になってきたが……